ハイドン
Franz Joseph Haydn (1732–1809)

交響曲 第94番 ト長調 Hob.I:94「驚愕」
Symphony No.94 in G major Hob.I:94 “The Surprise”

1 1 Adagio cantabile - Vivace assai
2 2 Andante
3 3 Menuet
4 4 Finale: Allegro di molto

交響曲 第1番 ニ長調 Hob.I:1
Symphony No.1 in D major Hob.I:1

5 1 Presto
6 2 Andante
7 3 Finale: Presto

交響曲 第64番 イ長調 Hob.I:64「時の移ろい」
Symphony No.64 in A major Hob.I:64 “Tempora mutantur”

8 1 Allegro con spirito
9 2 Largo
10 3 Menuet: Allegretto
11 4 Finale: Presto

飯森 範親（指揮）
Norichika Iimori (conductor)

日本センチュリー交響楽団
Japan Century Symphony Orchestra

2019年1月25日（第94番）、2020年1月17日（第1番、第64番） 大阪・いずみホールにてライヴ収録
Live Recording at Izumi Hall, Osaka, 25 Jan. 2019 (No.94), 17 Jan. 2020 (No.1, No.64)

Producer: Tomoyoshi Ezaki
Recording Director: Tomoyoshi Ezaki Balance Engineer: Tomoyoshi Ezaki
Recording Engineers: Tomoyoshi Ezaki, Takeshi Muramatsu, Masashi Minakawa
A&R: Moe Sengoku Title Calligraphy: Norichika Iimori
Cover Design: Shoko Okada, Miwa Hirose

EXTON

飯森範親と日本センチュリー交響楽団の、ハイドン第13弾

小味渕 彦之

日本センチュリー交響楽団が首席指揮者の飯森範親と共に始めた「ハイドンマラソン」は、番号の付いたものだけで104曲あるフランツ・ヨーゼフ・ハイドン（1732-1809）のすべての交響曲を演奏しようという壮大なプロジェクトです。このディスクに収められたのは、その14回目であったいずみ定期演奏会 No.40（2019年1月25日）と、18回目のいずみ定期演奏会 No.44（2020年1月17日）で演奏された3曲。会場はいずみホール（大阪）（現・住友生命いずみホール）です。「ハイドンマラソン」を収録したディスクは当盤で13枚目となり、これで44曲の交響曲がCD化されたことになります。3曲とも通奏低音としてパブロ・エスカンデがチェンバロを奏でていますが、このシリーズでは指揮者の飯森範親の判断でチェンバロの起用が決められています。

交響曲 第94番 ト長調 Hob.I:94「驚愕」

ハイドンがエステルハージ家を実質的に辞したのは1790年のことでした。長年にわたってハイドンを寵愛したニコラウス侯が、この年の9月に亡くなったのです。後を継いだ息子のアントン侯に音楽の趣味はなく、宮廷楽団は事実上の解散となってしまいました。ハイドンには多額の年金が与えられることになり、名目上は楽長の職が継続されたのですが、さらに自由な音楽活動が認められることになったのです。ウィーンに居を定めたハイドンには、いくつもの新たな職の誘いがありました。とりわけ魅力的だったのが、ロンドンのペーター・ザロモンから持ち込まれた新作の交響曲を含む演奏会の企画でした。ハイドンは、1791年から1792年、1794年から1795年の2度にわたってロンドンに長期滞在し、活発な音楽活動を繰り広げることになります。

《第94番 ト長調》は、1791年（59歳）の秋までには仕上がっていて、翌1792年3月23日に開催された第6回ザロモン・コンサートで初演されました。1791年3月から始まった最初のシーズンで、ロンドンの聴衆の反応や趣味趣向を受け止めた上で、取りかかった作品だと言えます。

「急（序奏付）ー緩ーメヌエットー急」という4つの楽章で構成されます。編成は弦楽合奏と、フルート、オー

ボエ、ファゴット、ホルン、トランペットが各2本、さらにティンパニが加わりました。〈第1楽章〉では、精妙な序奏から主部への移行が鮮やかに映えます。〈第2楽章〉は主題と4つの変奏を持つ変奏曲形式。静かな中での一撃が題名の由来となった仕掛けです。まさに「びっくり」。初演直後に誰ともなくこのニックネームで呼ばれたとか。〈第3楽章〉はメヌエットであっても、「アレグロ・モルト」という速いテンポが設定され、ベートーヴェンの時代の「スケルツォ」につながる音楽になりました。〈第4楽章〉は軽やかな中で入念な主題の展開が行われて、凝り性のハイドンの職人技を堪能できる音楽です。コーダ（終結部）でのティンパニの不意打ちには再び「驚愕」させられます。曲の終わり方も誠にユーモラス。

交響曲 第1番 ニ長調 Hob.I:1

《第1番》という番号を持ち、ハイドン最初の交響曲とされます。1757年（25歳）の作曲と考えられますが、従来は1759年の成立となっていました。

この《第1番》の交響曲は、ゲオルク・グリージンガーによってハイドンの最初の交響曲とされた作品。グリージンガーは晩年のハイドンへの面会や書簡の交換によって評伝を書いていて、「1759年にボヘミアのモルツィン伯爵家で楽長を務めた時期に最初の交響曲を書いた」というハイドンの証言を得たのです。しかし当時のハイドンはすでに高齢で、記憶が曖昧だったとも伝えられていて、年代に関しては信ぴょう性に欠けるとされています。モルツィン伯爵家での仕事にしても、実のところ詳細はわかっていません。ハイドン研究の立役者であるロビンス・ランドンが、ハイドンの交響曲が最初に成立した時期を強引に1757年としたのですが、1758年筆写の《第37番》の譜面が発見されたことと（この交響曲はハイドンの2番目の交響曲とされています）、ハイドン初期の交響曲15曲の筆写譜を含む、フュールンベルク・コレクションの研究によって、一定の根拠を得ることになりました。

「急ー緩ー急」の3つの楽章で構成されるのは、イタリアオペラのシンフォニアの形式に従った古いスタイルです。ファゴットを含む通奏低音楽器が入った弦楽合奏と2本ずつのオーボエとホルンという、標準的な編成で書かれています。

晴れやかに始まる〈第1楽章〉冒頭のクレッシェンドに、前古典派のマンハイム楽派の影響が指摘されたこともありましたが、当時ウィーンでもこうした音楽が存在していたことが指摘されています。〈第2楽章〉は居住まいを正したアンダンテ。〈第3楽章〉は3拍子で軽快に弾むフィナーレです。

交響曲 第64番 イ長調 Hob.I:64「時の移ろい」

1773年（41歳）頃の成立、この年の秋に作曲ともされてきました。すでにハイドンはハンガリーの名家であるエステルハージ家の宮廷楽長に就任して7年が経っています。1766年から1773年に書かれたハイドンの交響曲は、シュトゥルム・ウント・ドランク（疾風怒濤）時代の作品と呼ばれてきました。これは、ゲーテなどの文学の潮流から転用された言葉で、音楽に書かれた強い感情の表出をあらわしたものです。

この作品のニックネームとなった「時の移ろい（Tempora mutantur）」という言葉が、エステルハージ家で使われたと考えられるパート譜に書き込まれていました。ウィットのきいた警句であるエピグラムを数多く残し、イギリスで16世紀から17世紀にかけて活躍したジョン・オーウェンの言葉だと推測されていて、ラテン語の全文は「時は移ろい、我々も時の中で移ろう。どのようにだろうか。人は時とともに悪くなるのだ」となります。オーウェンが書いたエピグラムは当時のヨーロッパで広く訳されて、人々の教訓になっていました。

「急ー緩ーメヌエットー急」の4つの楽章で構成されました。編成は《交響曲 第1番》と同じ標準編成で書かれています。

「時の移ろい」がどの部分を指すのか判然としません。〈第2楽章〉のどこに向かうのか判然としない響きなのか、〈第4楽章〉の両極端な表情の音楽なのかで議論が分かれます。〈第1楽章〉は緩急豊かにキビキビと進み、楽想を呼び交わす対比が鮮烈に響きました。〈第2楽章〉は前述した通りに摩訶不思議な音楽で、まどろみなのか幻想なのか、茫洋とした光景が続きます。〈第3楽章〉は音の遠近法が明確に緩られたメヌエット。〈第4楽章〉は居住まいを正して始まるのですが、途中で野性的に荒れ狂う響きが挿入されて驚かされます。

（こみぶち・ひろゆき）

飯森 範親（指揮）
Norichika Iimori (conductor)

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督（GMD）に着任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音するとともに、日本ツアーを成功に導いた。

国内では94年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、現在は特別客演指揮者。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビュー。06年度　芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、07年より山形交響楽団音楽監督に就任し、そのエネルギッシュな活動は高い評価を受けている。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者、2019年シーズンより山形交響楽団芸術総監督に就任。2020年1月より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、同年4月より中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2021年4月より東京ニューシティ管弦楽団ミュージック・アドヴァイザー（次期音楽監督）に就任。

2020年10月、新国立劇場のシーズンオープニング公演であるプリテンのオペラ「夏の夜の夢」を指揮、好評を博し大成功を収めた。

オフィシャル・ホームページ
iimori-norichika.com

日本センチュリー交響楽団
Japan Century Symphony Orchestra

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する(2015年度、2018年度)など、演奏活動は高い評価を得ている。

オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」（豊中市）、「ルシオール街かどコンサート」（滋賀県守山市）等の地域連携事業にも力を入れている。

「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念をもとに、演奏を通して多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、新しい時代のオーケストラとしての発展を目指し活動している。

オフィシャル・ホームページ
www.century-orchestra.jp

いずみ定期演奏会 No.40
［2019年1月25日／交響曲第94番］

〈コンサートマスター〉松浦 奈々／高橋 和貴*
〈第1ヴァイオリン〉◇西川 茉利奈／相蘇 哲／佐藤 文隆／中谷 真美／廣津 智香／道橋 倫子
〈第2ヴァイオリン〉◎池原 衣美／○高橋 宗久／巌埼 友美／小川 和代／尾崎 未佳／下谷 智子／中屋 響／小林 遥*
〈ヴィオラ〉○増永 雄記／飯田 隆／永松 祐子／森 亜紀子／阿部 真子*／渡辺 康仁*
〈チェロ〉◎北口 大輔／○高橋 宏明／末永 真理／望月 稔子
〈コントラバス〉◎村田 和幸／○内藤 謙一／坂倉 健
〈フルート〉◎永江 真由子／伏田 依子
〈オーボエ〉◎宮本 克江／川人 大地
〈ファゴット〉◎宮本 謙二／佐藤 ジュン
〈ホルン〉◎濵地 宗*／三村 総撤
〈トランペット〉◎小曲 俊之／○佐藤 元昭
〈ティンパニ〉◎安永 友昭
〈チェンバロ〉パブロ・エスカンデ*

いずみ定期演奏会 No.44
［2020年1月17日／交響曲第1番、第64番］

〈コンサートマスター〉江口 有香*
〈第1ヴァイオリン〉◇西川 茉利奈／相蘇 哲／佐藤 文隆（第64番）／関 晴水（第64番）／中谷 真美（第1番）／廣津 智香／道橋 倫子（第1番）
〈第2ヴァイオリン〉◎池原 衣美／○高橋 宗久／巌埼 友美（第1番）／小川 和代／尾崎 未佳（第64番）／下谷 智子（第1番）／中屋 響（第64番）／日比 淳一
〈ヴィオラ〉○増永 雄記／飯田 隆／永松 祐子／森 亜紀子
〈チェロ〉◎北口 大輔／○高橋 宏明／渡邉 弾楽
〈コントラバス〉◎村田 和幸／坂倉 健
〈オーボエ〉◎宮本 克江／川人 大地
〈ファゴット〉◎安井 悠陽
〈ホルン〉◆日髙 剛／三村 総撤（第1番）／森 陽子（第64番）
〈チェンバロ〉パブロ・エスカンデ*

◇アシスタントコンサートマスター
◎首席奏者　○副首席奏者　◆首席客演奏者　＊客演奏者

● SACD and DSD are Trademarks.
●DSDの音はSACD対応プレーヤーでお楽しみください。尚、本品はCDレイヤーをあわせ持った二層構造の「ハイブリット・ディスク」になっておりますので、通常のCDプレーヤーの多くのものでもCD品質の音でお楽しみいただくことができます。また、DVDプレーヤーの場合は、CD対応となっている機種でもかからないものがありますので、あらかじめ御了承ください。詳しい再生上の取り扱い方については、ご使用になるプレーヤーなどの取り扱い説明書をご覧ください。

<取り扱い上のご注意>●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等をつけないように取り扱って下さい。●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取って下さい。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで下さい。●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。●ひび割れや変形、又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないで下さい。**<保管上のご注意>**●直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。●ご使用後、ディスクは必ずプレーヤーから取り出し、専用ケースに入れて保管して下さい。●ディスクケースの上に重い物を置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。